

【国指定重要無形民俗文化財・日本ユネスコ協会連盟未来遺産】

令和2年1月31日(金)

しゅじょうおにえ

六郷満山 天念寺修正鬼会



六郷満山に千年前より伝わる大宗教典儀である。

毎年正月初めに国家安穩、万民快樂(げらく)、五穀豊饒を祈念する行事である。頭密一致の大法要であるとともに、大衆も参加できる楽しい庶民的行事で、各地にもある修正会の行事とはかなり趣きを異にしている。

六郷満山では修正会の厳しい儀式とともに、鈴鬼や荒鬼等の仏の化身が登場して、謹行(ごんぎょう)と立役(たちやく)とが組み合わされている。

しかも「オハヤシカタ」と称する楽隊が奏する音律が経文の中にとり入れられ、いとも荘重である。同時に火の祭りでもある。神前本堂前に供

える大松明(たいまつ)は長さ5メートルもあり、荒鬼は火のついた短い松明をもって参詣者を叩き廻って御祈祷をする。古来より行事は徹夜で行われてきたが、最近では昼間に勤行をすまし、夜になって立役が始まる。天念寺修正鬼会は、昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定されている。

修正鬼会-次第-

時刻	行法	内容	時刻	行法	内容
15:00~	昼の勤行				
19:00~	こうり垢離取り	川中不動前の川中で荒鬼、災払い鬼役の僧と、テイレシ(介錯)が身を清めます。		こうずい香水	激しい法舞を行い、仁聞聖者の難行と六郷満山建立の悲願成就を表し、五方龍王の加護により内外清浄のための香水がそそがれることを祈願します。
20:00~	タイアゲ夜の勤行	大松明三本を講堂前、権現社前、本堂寄りに立てます。夜の勤行が始まります。 		すずおに鈴鬼	男女の面を付け、鈴、団扇を手を持ち、十種の法舞をおどります。
21:00~	たちやく立役	一旦僧は退場し、着替え。ここから芸能的な所作となります。	22:00~	さいはら災払い鬼 あらおに荒鬼	二鬼が登場！初めに災払い鬼(赤鬼)、続いて荒鬼(黒鬼)。
21:10~	まいけ米華	二名の僧侶が右手に香水棒、左手に米・藁・牛玉杖を載せた膳を持ち、相対して足踏みをします。撒かれた米などは縁起物なので拾いましょう。	23:00~	鬼の目餅撒き	一番盛り上がるのが、この「鬼の目餅撒き」です。鬼の目と呼ばれる大きな餅を参拝者に向かって投げます。それを拾った人は縁起が良いとされ、こぞって奪い合います。最後に鬼が松明で参詣者の背中や肩を叩き無病息災を祈願します。※火の粉が飛ぶので服装には注意してください
	かいやく開白	二名の僧侶が諸仏諸天に祈念、香水棒を持ち踊ります。	 	きごじゆ鬼後呪	修正導師が鬼を鎮め、鬼退場

国東半島
六郷満山

天念寺

歴史資料館

鬼
今宵の里

おにえのさと





川中不動

てんねんじ かわなかふどう
天念寺・川中不動

天念寺は養老2年(718年)仁聞菩薩の開基とされる六郷満山寺院の中山本寺であり、長岩屋川流域の東西3キロほどの細長い谷筋を寺域としていました。後ろには天念寺岩屋と呼ばれる岩峰群がそびえ立ち、修験と祈願の寺院として繁栄しました。

川中不動は長岩屋川の中にある巨石へ水害防除のために、3メートルほどの不動明王と制多迦(せいたか)童子、矜羯羅(こんがら)童子の不動三尊が刻まれています。



天念寺



無明橋



修正鬼会

国指定重要無形民俗文化財

てんねんじ しゅじょうおにえ

天念寺修正鬼会

昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定された、天念寺修正鬼会は国東半島六郷満山に千年前から伝わる大宗教典儀であり、毎年旧暦の正月七日に国家安穂・無病息災・五穀豊穰などを祈念して行われます。宗教的な大法要であるとともに、各地にある修正鬼会とは趣が異なり、一般参拝者も参加できる庶民的な行事となっています。



国指定重要文化財

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

木造阿弥陀如来立像

後頭部から背中にかけて大きく内割りを施され、大粒の螺髪、張りの強い両頬の肉付け、大腿部のY字状の衣文などに平安時代前期の名残を見せながらも、総体に国東地方の平安仏の特色を示し、12世紀の早い頃の造像であると考えられています。

この仏像は、かつては小両子岩屋に所在していたとされ、その後天念寺本坊の国宝堂と呼ばれた建物に安置されていましたが、大正8年、当時の帝室博物館に飾置のため貸与されました。それから、天念寺を襲った昭和16年の大洪水により流された本堂などを再建するため、当時国宝(旧国宝)であったこの仏像は昭和36年に埼玉の鳥居観音に売却されました。その後、地元住民などの悲願により、平成9年に市が県の補助を受け買戻し、大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館(現大分県立歴史博物館)に預けられ、平成15年本施設の設置により、実に42年ぶり(天念寺を離れてからは84年ぶり)のご帰還となりました。

資料館

資料館では修正鬼会を映像で体感でき、使われていたお面なども観られます。また、展示館には国重要文化財の阿弥陀如来立像などが展示されています。



食堂

豊後高田そばの認定店。「天念寺」の修正鬼会で縁起物とされる餅が入った「鬼の目そば」は、無病息災を祈る縁起そば。他には、ざるそばや田舎風かき揚げ丼などがあります。



ふれあい市場

地元の新鮮な農産物と市内のお土産を中心に販売しています。



鬼会の里 散策MAP

鬼会の里の周辺には、様々な文化財が存在します。天念寺横にある階段を登れば、「国宝堂跡」が…。また、修正鬼会が行われる天念寺講堂の横には、役行者の磨崖仏がたたずみ、目の前に流れる長岩屋川の巨岩には川中不動が刻まれています。そして、鬼会の里前の橋を渡り、階段を登った先には天念寺岩屋を一望できる展望所があります。



天念寺 歴史資料館 鬼会の里

豊後高田市長岩屋1152 TEL 0978-27-3049

- | | |
|-------------|--|
| 展示室
利用料金 | 一般・高校生 / 200円 (団体30人以上160円)
小中学生 / 100円 (団体30人以上 80円) |
| 休館日 | 第2・4火曜日 (祝祭日は除く) |
| 開館時間 | 4月～11月 / 9:00～17:00
12月～3月 / 9:30～16:00 |

